

20建水第663号
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

飯島町長 高坂



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼の標記については、別紙のとおり提出します。

（添付書類）

- | | | |
|-----|----------------------------|----|
| 様式① | 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など | 1部 |
| 様式② | 地域の現状と抱える課題 | 1部 |
| 様式③ | 地域の目指すべき将来像 | 1部 |
| 様式④ | 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等） | 1部 |

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県 飯島町

日本の国力、産業経済の適確な見通しの中で、真に必要な道路政策のビジョンを論議し、その上でその整備に必要な財源をどう確保すべきかが先決であって政争の具にしてはならない。

ただし、一部に伝えられているような道路整備と全くかけ離れたことに財源が使われていることは、額の多少にかかわらず国民の理解は得られず、早期に是正すべきである。

地方の生活、産業、安全対策などを最重要視する中で、まだまだ山積している地方道路整備に対する住民ニーズは依然高いことから、道路整備の推進が強力に図られるよう強く要望します。

また、道路特定財源の一般財源化移行の中で、国と地方への配分において、地方への配分を増やすよう要望します。

②-1 地域の現状と抱える課題

長野県 飯島町

現状 当地域の伊那谷を南北に縦貫している国道153号は、中央自動車道の代替機能を有する当地域の生命線であるとともに、上伊那地域、下伊那地域の連携軸として、今後想定される東海地震など災害時における緊急輸送路として、また、医療、産業、文化、通勤等広域的な地域の発展に寄与する極めて重要な路線である。 しかしながら、当地域特有の田切地形により、急激な起伏やカーブが連続し、災害時や冬期の通行に支障を来しており、厳しい地形や気象条件を克服する災害に強い道路や、災害時に代替機能が発揮できる道路ネットワークの構築が重要となっている。 また、市街地においても、未だ整備が立ち遅れており、交差点付近の渋滞が慢性化し、交通に支障をきたしている状況にある。	課題 中山間地を抱える当地域は、未だ整備が立ち遅れており、新たな交流の促進と地域の活性化を図るためには、これらの問題を解決し、地域振興の基盤となる道路整備が最も重要かつ緊急課題となっている。
---	---

②-2 地域の目指すべき将来像

長野県 飯島町

当地域の伊那谷を南北に縦貫している国道153号は、中央自動車道の代替機能を有する当地域の生命線であり、地域の生活、産業、安全対策などを最重要視し、災害に速やかに対応できる道路整備、地域の特性に合った道路整備、また、少子高齢化社会に対応できる道路整備を促進し、更に、安全・安心社会を形成するため、維持更新時代に対応できる道路維持・管理体制の構築を目指します。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

長野県 飯島町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・総合的な交通安全 対策及び危機管理の強化	○代表事例 一般国道153号伊南バイパス 一般国道153号は名古屋市から塩尻市を結ぶ延長220kmの国土を横断する重要な広域幹線道路であるとともに、伊那谷を南北に縦貫し、中央自動車道の代替機能を有する生命線です。 また、当地域においては駒ヶ根市・飯島町の中心市街地を貫く重要な生活道路の役割も果たしています。 上伊那地域における産業や観光の大きな核の一つである当該地域は、モータリゼーションの急激な発達と精密機械産業の集積による交通量の増加により、朝夕の通勤時間を中心に市街地の慢性的な渋滞を引き起こしています。 駒ヶ根市・飯島町内は上伊那地域の中で、最も渋滞の激しい区間です。 一般国道153号は「長野県地域防災計画」において、第一次緊急輸送路に指定されていますが、当地域は伊那谷特有な田切地形により非常に複雑な地形となっているため、災害時や冬期における安全性が求められるなかで、現在の国道153号は急激な起伏やカーブが多く信頼性が高い状況にあるとはいえません。 このことから、平成9年に飯島、駒ヶ根間9.2kmを県の権限代行による国の直轄事業として事業採択され、駒ヶ根工区4.0kmより工事を着手し、平成19年12月15日に開通式を行い供用開始され、飯島工区については順次整備を進めているところです。	○期待する効果や評価等 伊南バイパスの開通により、急激な起伏やカーブの解消、通過交通と地域内交通の分離が図られ市街地の渋滞が緩和されます。 安全性の高い道路構造と交通容量の増大により、人や車が安心して通行ができます。 道路沿線沿いに新市街地ができます。 上伊那・飯伊地域の交通連携を促進し、伊那谷地域として活性化・発展が進みます。	